

令和2年度生徒指導集中対策，生徒指導実践指定校及び不登校等未然防止推進校

「指定校における取組事例」

学校名	尾道市立高西中学校	校長	濱本 かよみ	担当者名	平原 広治
取組事例名 『TAKANISHI 志プロジェクト』					
生徒指導に係る連携体制の確立		カウンセリング・マインドをもった教職員と児童生徒との対話		○	主体的な活動を通じた絆づくり
取組における育てたい資質・能力					
主体性・協働性					
取組のねらい					
<p>・本校は近年目に見える問題行動の数は減少傾向にあるが，不登校生徒の増加やSNSに関する人間関係のトラブル等の目に見えにくい静かな荒れがみられる。そこで，「自治的風土の醸成」を研究の柱の1つに掲げ，生徒会活動を活性化させ、生徒の自己指導能力を育成することをねらいとして取組んでいる。</p>					
取組の具体的内容			取組の創意工夫		
<p>① 全校学活・生徒朝会・学校朝会で目的の共有を行い，何のためにやるのか，何を頑張るのかを確認を行いながら活動のRPDCAをまわした。</p> <p>② 委員会活動の活性化に向けて，事前の委員長会議を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学習委員 期末の刃（定期試験にむけた取組み）</li> <li>・生活委員 時を守り 場を清め 礼をたたくキャンペーン</li> <li>・広報委員 川柳選手権</li> <li>・保安委員 換気・マスク着用対策</li> <li>・整備委員 正しい掃除の仕方の動画作成 等</li> </ul> <p>③ コロナ禍で例年のような学校行事や集会ができなかったため，昼休憩に週一回生徒会役員がラジオ形式で放送を行った。放送の内容としては，先生にインタビューをしたり，全校生徒からラジオで流してほしいリクエスト曲を流したりするなどの取組を実施した。</p> <p>④ 6月の体育大会が中止になったため，感染拡大の状況をみながら11月に各学年単位でミニ運動会を企画し，実施した。</p>			<p>・全生徒が見える場所にテレビを設置して取組みや目標を可視化した。</p> <p>・生徒会役員でワークショップ形式で課題を分析し，課題解決に向けての取組みを検討したこと。</p> <p>・全生徒が少しでも楽しめる昼休憩になるようにと，毎週の原稿内容を担当者が考えたり，アンケートをとって多くの生徒の声をひろったりしたこと。</p> <p>・各学年単位で実行委員を立て，企画，運営することにより，学年のリーダーの育成になった。また，3年生の姿を全校集会などで肯定的評価することで，取組みをつなぐことができた。</p>		
取組の成果と課題					
<p>昨年度の問題行動の件数（暴力行為16件 いじめ認知件数11件 特別な指導37件）と比較すると今年度1月末までの問題行動の件数（暴力行為6件 いじめ認知件数3件 特別な指導10件）は減少傾向にある。生徒の自治的風土が育ってきている。</p> <p>一方，不登校生徒数は増えており，共感的人間関係の形成という視点では課題がのこった。</p>					